

## 平成25年9月 第3回 市議会定例会



土屋の里山体験フィールドにて  
「谷戸田の稲刈り」

## ツインシティ整備計画

### 大神地区土地区画整理事業補助金

### 1億2600万円の追加補正を可決

平塚市議会は、平成25年8月29日から9月25日まで、28日間の会期中に9月定例会を開催しました。  
今定例会では、市長から平成24年度の一般会計、特別会計および病院事業会計決算の認定に関する議案、平成25年度一般会計の補正予算案、職員の給与を削減するための条例の改正案などが提出されました。このうち、ツインシティ整備推進事業にかかる補助金の増額などを行う一般会計補正予算案に対して一部の議員から修正案が提出されましたが、採決の結果、この修正案は否決となり、原案を可決しました。また、そのほかの21議案についても原案どおり可決しました。  
なお、平成24年度の決算にかかる議案については特別委員会を設置し、継続して審査することとしました。

### 「補助金の支出には賛同できない」

### 一部議員から修正案が提出される

### 一般会計 補正予算

9 月定例会では、一般会計の補正予算として、ツインシティ大神地区土地区画整理事業に関する経費や、公立保育所の整備事業費などとして4億78

60万7000円が計上されました。このうち、ツインシティ大神地区土地区画整理事業には、土地区画整理組合設立準備会に交付し、工事の基本計画設計な

どの費用となる1億2600万円の補助金が計上されました。

本 会議や常任委員会で、ツインシティ整備推進事業や補助金の使途などに対し多くの議員が質問を行いました。また最終日には「事業の成否を見極められず、補助金支出の手

市職員の給与を削減 国からの要請と地方交付税の削減を受け、平成25年10月1日から翌年3月31日まで、市の特別職員と一般職員の給与を減額するための条例改正案が提出され、賛成多数で可決しました。

### 教育委員会委員など 人事案件に同意

本会議最終日に、任期満了を迎える本市の行政委員を任命、選任、推薦する議案が提出され、採決の結果、各氏とも適任者として各議案に同意しました。

- 教育委員会委員  
浅沼徳子氏(横須賀市)
- 公平委員会委員  
齊藤政和氏(秦野市)
- 固定資産評価審査委員会委員  
横山哲郎氏(大磯町)
- 人権擁護委員  
武井定光氏(下吉沢)



# 総括質問

## 清風クラブ

坂間 正昭 議員

### ツインシティ整備推進事業

**問** 県などによる「ツインシティ整備計画」があるが、本市の事業は新幹線新駅の誘致なのか、さがみ縦貫道路の関連事業なのか。どこに主眼を置き平塚のまちづくりを考えていくのか。

**市長** 新駅の誘致が決まってきたからまちづくりを始めるのではなく、広域道路網が整備されることにより地域のポテンシャルが高まる中でまちづくりを進めることが、地域の産業の活性化や居住、雇用の創出などを生み出し、利便性や潜在的な力の高いまちをつくることのできるかと考えている。

**問** 事業に反対する地権者や慎重論がある中で、事業をどのように説明し、理解を得ていくのか。

**市長** まちづくりの重要性をしっかりと説明し、理解を得ることが必要だと考えている。また、組合設立認可前から地権者の意向を把握し、想定換地設計案の検討を行うなど、安心して事業に参加できるように資料の作成を行っている。その後、取りまとめた想定換地案や事業

9月定例会では17人の議員が、ツインシティ整備推進事業、教育行政、防災・減災対策、子育て支援などに対し質問を行いました。

※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

### 財政基盤と市政運営

**問** 入札事務において積算や入札参加資格審査の誤りが続いている。その原因と、再発防止策についてどう考えているか。

**市長** 今回採用した「工事成績等活用型」の入札に細かい部分があり、入札参加審査時に用いる判定表に錯誤しやすい点があった。判定表の見直しをすることで審査ミスをなくするとともに、分かりやすい入札参加条件にするため、公告文の改善に努めていく。

**問** 相模小学校の移転整備方針を取りまとめている中で、移転場所、移転時期などの予定を伺う。

**市長** 大神公民館の東側を予定している。自動車の騒音や排気ガスなどの影響が少ないことや、住宅地区に位置づけられていることから学校の立地に適していると考えている。平成30年4月の開校を目指している。

### 片倉 章博 議員

### 商店街街路灯のLED化推進

**問** 商店街街路灯に対する補助金の内容について伺う。

**副市長** LED電球への交換に対する支援を行うものである。補助率は法人商店街団体、任意商店街団体ともに50%以内とし、短期間に進めるため平成26年度末までの期限を設けた。

**神奈川県産木材の活用**

**問** 公共建築物等木材利用

ためのまちづくりセンターは、自治会を中心とした地域自治の推進としてのものなのか、それとも公民館が主体なのか。

**市長** 小学校区におおよそ一館の公民館があるので、地域情報の受発信、人材の発掘や活用、地域の団体間の連携、地域課題の解決、コーディネート機能などをしっかりと応援し、市民や地域の方々と一緒に、地域の活性化の拠点にしていこうという趣旨である。

### 教育行政について

**問** 「土曜授業」の実施など、本市の教育の現状と今後の考え方を伺う。

**教育長** 学習指導要領の改訂により授業時数が増え、教育課程の過密化が指摘されている。その解消のための方策を土曜授業の実施以外にも考える必要がある。先行事例や、国・県の示す指針を注視しつつ、学校現場の実情や意向を踏まえ、土曜日に授業を拡大するための環境や条件を研究していく。

### まちづくりセンター化

促進法が施行されたことで、神奈川県は使用する木材の50%以上を県産木材とする目標値を設定し、より一層の利用に努めるとしているが、この施策について本市の所見を伺う。

**企画政策部長** 県の補助金は、対象施設として学校や社会福祉施設、病院などの制約があり、補助率は2分の1と聞いている。使えるものは使っていくが、耐震・耐火建築にすることなどの課題もある。建物の内装を木質化することについては、状況に応じて検討していきたい。

### 市街地調整区域の土地利用

**問** 市街地調整区域の開発について、都市マスタープランに位置づけた「地域生活圏形成区域」である城島、土屋、吉沢の状況を伺う。

また、人口が減少している集落の活力回復に対応していく「地区活力回復区域」における取り組みを伺う。

**まちづくり政策部長** 各区域への対応については、専門家への相談を行うとともに、地域住民との意見交換を行っている。また、市街地調整区域の地区計画制度

### 須藤 量久 議員

### 全国学力・学習状況調査から

**問** 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的とした平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果が発表された。この調査における本市の状況と見解を伺う。

**教育指導担当部長** 本市全体の全教科の平均正答率は、

の活用にかかるガイドラインについては、「市街地調整区域の土地利用方針」に基づき検討段階であるが、県との協議や地域の機運の高まりなどをかんがみ、策定に向けて取り組みたい。

**高度地区の見直し**

**問** 市長のマニフェストに高度地区の見直しを掲げられているが見解を伺う。

**まちづくり政策部長** 土地利用の動向や、他市の状況を十分踏まえたうえで、良好な市街地環境の維持・保全や中心市街地の活性化も考慮していきたい。よりよ

全国と比較すると小・中学校とも程度で、5ポイント以内の差という結果になっている。

**問** 教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるためにも、調査結果の詳しい分析が必要と考えるが、見解を伺う。

**教育指導担当部長** 現在、本市全体の調査結果について分析作業中である。今後、分析結果を基に、本市における教育施策の成果と課題を把握し、改善を図っていく。

**問** 調査結果の公表は市町村の教育委員会がそれぞれの判断で行うが、本市の見解を伺う。

**教育指導担当部長** 本市における調査結果については、今後、分析結果とともにホームページで公表する予定である。

**問** 福井県福井市では、科目ごとの全国平均との比較、

い市街地環境の形成に寄与する建築物については、建築物の高さ制限の緩和規定が活用しやすい制度の検討を進めていきたい。

**中学校業者弁当委託を全校へ**

**問** 中学校全校に業者弁当の導入を進めていく考えがあるのか。

**市長** それぞれ地域特性があるので計画的に、できれば全校に広げていきたい。何年度に何校ということではなく、できるだけ早く対応ができるよう取り組んでいきたい。

よかった点、課題などを整理し、さらに各学校で自校の課題を加えて、科目ごと1枚の表を作っている。とてもよい取り組みだと思いが、本市でもそういった取り組みをする考えはあるのか。

**教育指導担当部長** 調査の分析結果を踏まえ、今年度は適当な時期に各学校の代表の教員を招集し、そこで市の具体的な課題を把握して、対策や、その結果が検証できるような取り組みを提示していきたいと考えている。

**問** 家庭教育や家庭学習がとも重要なポイントだと考える。今回の全国学力・学習状況調査の分析からも

「家庭学習との連動」が課題であり、家庭学習の支援が必要とされているが、見解を伺う。

**教育指導担当部長** 家庭学習への支援の必要性については、機会があるたびに管理職をはじめとした教員に対して啓発を行い、各学校が主体的に取り組んできたところである。しかしながら、社会や家庭環境の変化を考えると、学習習慣のさらなる確立のためには家庭学習への具体的な取り組みを発信することが必要と考えている。今後、地域や関係団体などの連携を考えながら、全市的な施策を検討していきたいと考えている。

## 平塚市議会の総括質問は『一問一答方式』と『一括質問一括答弁方式』の選択制で行っています

- 一問一答方式
 

平塚市議会では、本会議における議案質疑と一般質問をまとめて「総括質問」として行っています。また、総括質問においては、「一問一答方式」と「一括質問一括答弁方式」のいずれかを選択できるようにしています。
- 一括質問一括答弁方式
 

議員が質問項目のすべての項目を一括質問します。その後もすべての項目を、質問者の持ち時間の範囲内で再質問することができますが、再質問は2回までという申し合わせがあります。

※高度地区：市街地の良好な住居環境や都市景観を維持するため、建築物の高さ制限を定めた地区。

**9月定例会**  
**総括質問**  
主な質問と答弁

小泉 春雄 議員

**消費税引き上げの市財政への影響**

**問** 地方消費税交付金はどのような数値や項目を基礎として算定されているのか。  
**市長** 消費税5%のうち、1%相当が都道府県税である地方消費税であり、その2分の1が地方消費税交付金として市町村に交付されている。交付基準は人口と従業員数のあん分である。  
**問** 消費税率が8%になると交付金はどのようになるのか。  
**市長** 8%のうち1・7%相当が地方消費税となる。今回の引き上げ分の0・7%は全額、人口によるあん分で交付され、本市へは約17億円増の約42億円が交付される見込みである。

**問** 本市は平成24年度、工事などでいくら消費税を支払ったのか。8%になるとどの程度になるのか。  
**市長** 工事請負費、物件費などの約12億1800万円が消費税相当額であり、8%で試算すると約19億4800万円となる。

**路上喫煙禁止区域と指定喫煙場所**

**問** 平塚駅周辺に喫煙場所が新しく整備されたが、整

**湘南フォーラム**

備時期と費用を伺う。

**環境部長** 駅西口の喫煙所は平成25年3月、総額約539万円、北口の喫煙所は平成24年1月、約371万円である。いずれも日本たばこ産業(株)横浜支店が整備し、本市に寄付していただいたものである。

**問** 駅南口周辺に喫煙場所を整備する考えはあるか。

**環境部長** 受動喫煙の防止対策も勘案しながら、南口駐輪場の整備に合わせて設置の可能性を検討していく。

**新庁舎の喫煙場所**

**問** 市役所新庁舎では喫煙場所をどこに配置するのか。  
**総務部長** 庁舎内は禁煙とし、屋外に喫煙スペースを設ける。1階の駐車場棟、2階の駐車場棟の屋上、3階の庁舎棟の北側屋外と8

**端文昭 議員**

**ツインシティ計画 土地区画整理事業**

**問** 県が策定したツインシティ整備計画には、「面整備の事業主体は公共団体がふさわしい」とある。組合施行に方針転換した理由と準備会発足の経緯を伺う。

**副市長** ツインシティ推進委員会の権利者代表部会において、事業手法や事業主体の方向づけがされ、準備会が設立された。

**問** 現在の準備会会長が強引に採決した。大神の地権

階屋上の4か所となる。

**平塚の米作農業**

**問** 市内2か所のライスセンターは年々受託面積も増え、限界に近づきつつある。さらなる整備が必要だが考えを伺う。

**産業振興部長** 県内一の米の収穫量を誇る本市の米作農業を支える観点から、新たなライスセンターを整備する必要性は高いと考えている。一方、用地の確保や建物、機械、設備の初期投資、人材育成などの課題もあり、農業者の理解を得ながら、JA湘南など関係団体と連携して協議を進める。

**問** 「片岡」と「湘南」の二つのライスセンターのエリア分けについて伺う。

**産業振興部長** 大まかには、西部と東部を受け持つと聞

いている。  
**問** 次は南の方に造るのか。  
**産業振興部長** 中間の岡崎辺りに必要だという話が出ている。

**通学路の安全対策**

**問** 通学路の緊急点検の結果、改善が行われたが、その状況を伺う。

**学校教育部長** 16校から56

**米村 和彦 議員**

**若者の雇用と自立に向けた取り組み**

**問** 本市における若年層の就労支援について伺う。

**産業振興部長** 就労相談や就労支援の各種講座、就労の場づくりとして就職面接会を開催するなど、就職を望む若者それぞれの悩みに応じた支援を行っている。  
**問** これらの事業への参加人数や就労の実績はまだま

か所の危険箇所の報告があり、47か所は対策済みだが9か所は未実施である。  
**問** 毎年、繰り返し通学路の安全点検を実施すべきではないか。

**学校教育部長** 教育委員会としては、学校、PTA、自治会、警察や道路管理者と合同点検を継続的に実施していきたいと考えている。

**問** 少ないと感じざるをえないが、どう考えているのか。  
**産業振興部長** 就労相談は、キャリアコンサルティングによる相談者の状況を踏まえた相談が可能で、今年度は件数が増えている。就職面接会では、新たに伊勢原市が共催となり、求人企業の幅を増やしている。事業の周知については、スーパーマーケットの掲示板やインターネットなどを活用し、情報発信に努めている。  
**問** 年齢や学生かどうかが、

**学校トイレの洋式化**

**問** 小・中学校の校舎や体育館のトイレは依然として和式が多い。学校は子供が多くなる時間を通り、また災害時には避難所となることから、全世代が使いやすいようトイレの洋式化を進めていくべきかと考えるが、

示されたが、信頼できる金額か。市は査定したのか。  
**都市整備部長** 市は査定を行っていない。事業費は動くものかと思っている。  
**問** 相模小学校を区画整理地に移動する計画に疑問と異論が噴出しているが。  
**副市長** 通学や学習環境に適していると考えている。

**新環境事業センター**

**問** 全炉が運転休止状態外部電源が遮断された場合、炉の再起動はできるのか。  
**副市長** その場合、炉の再起動はできない。非常用発電機の研究はしていく。

**問** 概算の事業費として約220億円が準備会から提

現在までの洋式化率や今後の計画を伺う。  
**学校教育部長** トイレの洋式化率は小・中学校全体で今年度末に約34%となる予定である。校舎や体育館の大規模改修の中でトイレの改修も進めているが、大規

模改修がしばらく後になる学校においては、先行してトイレのみの改修も必要だと考えている。バリアフリー化とともに、子供たちが使いやすい快適な空間となるように改善をしていきたい。

性として難しいということになれば、そのことを示したいと思うが、まずは今年、どのようなことができるのか検討したい。

**府川 正明 議員**

**大浜地区土地区画整理事業**

**問** 都市計画および事業認可に向けて、現在どのようなことに取り組んでいるのか。具体的にいつ、都市計画決定されるのか。本当にやる気があるのか。できないのであれば「できない」という、はっきりとした返事をいただきたい。  
**都市整備部長** 千石河岸の大浜地区は都市基盤が未整備のまま形成された住宅市街地で、住宅地整備を基本として検討してきた。さがみ縦貫道路をはじめとする広域交通網の整備に伴い、大浜地区周辺は漁業を基本とした産業の発展の基盤として期待されている。産業間連携における地区の位置づけや、集客・交流機能の必要性を踏まえ、地区内に配置すべき機能を抽出し、将来の土地利用や整備の在り方を新基本構想としてまとめるため検討している。

**市長** 大浜地区の土地区画整理事業は、長い年月、地元の方とともに検討してきた。安全対策、経済面などを考え、具体的な動きに取り組んでいく。もし、方向

模改修がしばらく後になる学校においては、先行してトイレのみの改修も必要だと考えている。バリアフリー化とともに、子供たちが使いやすい快適な空間となるように改善をしていきたい。

**平塚駅南口の駐輪対策**

**問** 駅南口周辺の駐輪場の整備はどのように行っているか。  
**交通政策担当部長** 早期に実現するため、整備と管理運営の主体である平塚市まちづくり財団と連携して事業を進める。買い物客の駐輪対策として、南口広場の駐輪場を定期利用から一時利用へ変更したい。また代官町第1駐輪場を2階建てにする方向で、代替地をJRと協議中である。

**テレビ中継のご案内**

本会議の様子は、湘南ケーブルネットワーク(SCN)「湘南チャンネル」で生中継しています。また、同日の夜、再放送もしています。

チャンネルはデジタル002chです。放送時間はSCNの番組表でご確認ください。



9月定例会 総括質問 主な質問と答弁

永田 美典 議員

防災・減災対策

問 災害時要援護者講演会で報告があった取り組み事例が、防災・減災の課題解決につながるのではないかと。
市長 取り組み事例を参考に、地域での「近助」や「共助」による支援を広げてい...

公明ひらつか

拡大について考えを伺う。
防災危機管理部長 災害状況により一概に指定できないが、検討していく。

入札参加資格審査

問 一般競争入札における参加資格審査の誤りが判明した。再発防止策を伺う。
総務部長 チェック体制を見直し、改善するよう...

公共施設の相互利用

問 「教育の方針」に耐震化事業を掲げているが、来年4月の近隣市との相互利用の開始に向けて、博物館の耐震化は間に合うのか。
企画政策部長 間に合わない。平成25・27年度の第3期以降で位置づけている。

ごみの資源化

問 厨芥類資源化施設導入のスケジュールを伺う。
環境部長 施設は既に建設中。今年度中に稼働させる予定。ごみの資源化を進めるため、引き続きごみの分別を徹底していただく。

子ども安心カード

問 小・中学校、幼稚園、保育所への救急搬送の状況を伺う。
教育指導担当部長 昨年度は105件の出動があり、年々増加傾向にある。児童・生徒の病状やけがによる救急搬送時の対応マニュアルはあるのか。

小学校プール開放

問 小学校プールの開放時の監視業務を民間に委託しているが、今年度の利用者数と、昨年度実績との比較を伺う。
社会教育部長 25年度は延べ3万737人で昨年より2041人減少した。

公共施設の長寿命化について

問 公共施設の長寿命化の考え方は示されているが、更新の問題、施設の複合化に対して方針を示すべきだと思つて見解を伺う。

ひらつか市民プラザの再整備

問 今後の市民プラザの役割をどう考えているのか。
産業振興部長 観光情報の発信基地としての活用などを考えている。名産品販売所としての期待もある。

ツインシティ整備推進事業

問 今定例会で1億2600万円の補正予算が提案されたが、昨年提出した4000万円の使途明細がないと審議できないので、都市建設常任委員会で審査するまでに提出してほしい。また、都市計画決定はいつまでに行うのか。

都市整備部長

使途明細は委員会までに提出したい。都市計画手続は、当初平成25年度末を目指していたが、農林水産省との協議に時間を要したことから、現時点では平成26年度の早い時期の都市計画決定を目指して取り組む。

地域猫について

問 9月に施行された改正動物愛護管理法には、「殺処分ゼロ」と「終生飼養」がうたわれているが、「地域猫」はこの取り組みそのものである。庁内評価では「拡大して継続」となったが、メンタル面を含めた今後の取り組みについて伺う。

環境厚生常任委員会

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

環境部長

広報活動や資金面の支援のほか、多様な場面で地域、県と市、庁内関係各課とのつなぎ役となり、活動環境を整えていく。部署を越えた横断的な対応が、事業の目的の一つでもある。「野良猫をゼロにする」ではなく、トラブルをゼロにすることにつながるものと認識している。

常任委員会 議案審査の概要

今定例会に上程された議案は、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。
※審査の概要は5面にも掲載しています

総務経済常任委員会

議案10件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また、請願3件を審査し、1件を継続審査、2件を不採択とすべきものと決定しました。

主な質疑

○議案第56号「平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の

一部を改正する条例」・議案第57号「平塚市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

**9月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

**平塚クラブ**

岩田 耕平 議員

**ツインシティ整備事業**

**問** 地元さまざまな意見がある中で、市長はこの事業をどのように理解しているのか。

**市長** 事業に対する疑問や不安を持っている方もいることは承知している。大地区土地区画整理組合設立準備会では、地権者との合意形成を図るため、戸別ヒアリングの場で事業に対する疑問や不安に答えるとともに、土地活用などの意向の把握を行っている。第2回ヒアリングでは、土地活用の意向について回答した約85%の方は、検討中の方も含め、市街化区域編入による都市的な土地利用に賛同していると判断している。

**市長** 新幹線新駅の誘致については、JR東海が消極的であるとの新聞報道があったが、リニア中央新幹線の開業後は列車ダイヤの過密度が緩和されるため、新駅設置の余地が高まるという認識を示している。県ではまちづくりと歩調を合わせて、「ツインシティ橋」の整備を表明している。

**問** 概算事業費として約220億円の金額が提示されたが、どのように検討したものなのか。

**市長** 準備会や、その内部組織である部会の中で検討中の金額を示した。

**問** 関係者にリスクを知らせるべきである。事業費や計画の妥当性の説明責任を果たすための情報提供が必要ではないか。

**市長** 地権者に事業リスクや事業内容などをしっかりと説明し、理解していただく必要があると考える。準備会では説明会や戸別ヒアリングを実施しているほか、機関誌を活用し、広く情報の提供を行っている。

**ツインシティ計画は財政的に大丈夫か**

**問** 新聞報道で、新幹線新駅の建設費などに対する平塚市長、県知事、寒川町長のコメントが出ている。財政的な見解を求める。

**市長** 新幹線新駅の誘致は東海道新幹線新駅設置促進

**出縄 喜文 議員**

**湘南海岸公園の再整備について**

**問** 再整備によりどのような市民サービスの向上を目指すのか。また、利用者の拡大については、どのような構想があるのか。

**都市整備部長** すでにパブリックコメントによる意見の聴取をしている。だれもが楽しめる憩いの場となる公園づくりを目指すとともに、魅力ある催しを開催することで利用者の拡大を図れると考えている。

**問** パブリックコメントでは極めて異例なほど多くの意見をいただいております。市民の関心が非常に高いことを示していると思う。さらに今後の市民とのコミュニケーションについてはどう考えているのか。

期成同盟会で進めており、新駅設置の負担額についても同会の中で検討されるものと考えている。県や寒川町、そして期成同盟会の会員市である平塚市をはじめとする各自治体が、それぞれ自分の負担を検討する必要があると認識している。

**問** 市長と、知事の考え方に温度差があると思う。また、市が提示したツインシティ整備計画の内容では、計画の実現に向けて不十分である。この地域に「さがみロボット産業特区」や「エコまち法」による新しい魅力づくりを提案する。

**市長** 知事は「駅を造って

から魅力を持たせるのではなく、駅が来たがるまちを造る」との考えである。道路インフラの整備状況なども踏まえ、「さがみロボット産業特区」などは県央の活性化に大きく関与してくると思う。また、知事は環境についていろいろと思いを持っている。私も環境に配慮したまちづくりを実現すると話しており、知事の考えと大きな相違があるとは感じていない。大地区が平塚市や県にとって重要なまちであると市民に理解してもらうため、丁寧に説明をし、事業を進めることが私の考えである。

公共交通機関の利用促進など、多くの目的を持って駐車場の有料化を考えている。適正な利用が図られるものと考えており、利用の拡大を図っていききたい。

**望まれる農業振興**

**問** 産業振興部長が考える農業の活性化とはどのようなものか。

**産業振興部長** 農家の方一人一人が、しっかりと、安心して生活を送ることができ

る収入を得られるようにすることである。

**問** 農業者に、生産額や農業収入を増やす手だてについてアドバイスができるような農業コンサルティングが必要であると考えるが、見解を伺う。

**産業振興部長** 農業者に対するさまざまなコーディネートや「ネット」や「コンサルティング」は必要だと考えており、今後、仕組みの中でしっかりと整理したい。

**総合公園駐車場の有料化について**

**問** 駐車場の有料化は、現在の利用者を排除することになりかねない。有料化で総合公園の利用者が増えると考えているのか。

**都市整備部長** イベント開催時の慢性的な渋滞の解消や、適正な受益者負担、公園利用者以外の使用防止、

公共交通安全の確保など、多くの目的を持って駐車場の有料化を考えている。適正な利用が図られるものと考えており、利用の拡大を図っていききたい。

**常任委員会の議案審査の概要**

**都市建設常任委員会**

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

**◆主な質疑**

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

**問** 道路の補修に関して、財源を安定して確保するために、保全基金を設ける用意はあるか。

**答** 今は市費で対応していきたい。今後、国に対して防災・安全交付金の申請を考えていることから、基金を設ける考えはない。

**問** ツインシティ整備推進事業に1億2600万円が計上されているが、土地区画整理組合設立準備会に補助金を支出する理由と妥当性について伺う。

**答** 準備会への助成については、助成要綱第4条の「調査費補助」が該当する。組合を設立するための調査に要する費用として、組合施行の土地区画整理を実施しようとする者に対して補助金を交付するものである。

**教育民生常任委員会**

議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

**問** 教育費を増額し、中学校の昼食に「業者弁当」を導入するが、栄養面での指導にどう関与していくのか。

**答** 市が人件費を負担することになれば、その分の金額を献立に反映してもらったり、一日の食事の中で栄養バランスがとれるよう、日ごとの食事や食教育の情報提供をしたりしながら事業を進めていきたい。

**問** 公民館の修繕に2630万円という大きな増額補正を行うが、なぜこの時期

**答** 当初予算で要求したが、計上されなかった。しかし来年度は消費税増税の話があることから、ここで補正計上した。

**問** スポーツ施設における公共施設予約システムを改修するために210万円の増額補正をしているが、内容を聞きたい。

**答** 平成26年度から大神スポーツ広場の利用を有料化する。現在、大神スポーツ広場と軟式庭球場は利用料金を利用申し込み時に支払っていたが、それを利用当日払にするため、公共施設予約システムのプログラムを改修するものである。

**点字版議会だより**  
**声の議会だより**

ご利用ください



平塚市議会では、目の不自由な方に向け、「点字版議会だより」と音声版「声の議会だより」を発行しています。

議会局 ☎21-8791

※1 さがみロボット産業特区：神奈川県さがみ縦貫道路沿線の9市2町に設けた、生活支援ロボットの活用や普及を促進し、関連企業の集積を進める地区。  
 ※2 エコまち法：「都市の低炭素化の促進に関する法律」の通称。都市機能の集約や公共交通機関の利用促進、建築物の低炭素化などの施策の普及を目的とする法律。

# 9月定例会

## 総括質問

### 主な質問と答弁

渡辺 敏光 議員

#### 決算の認定について

**問** 平成24年度一般会計決算の特徴と評価を伺う。

**市長** 市税は前年度比3億8000万円増と、5年ぶりに増加した。投資的経費は大幅に増加し、繰出金の増加と児童手当の変更で扶助費は減少した。経費の削減や効率化の徹底に加え、市税の収納率の向上などによる歳入の確保で、予定した事業は十分に実施できた。

**問** 県内の特例市と比較した本市の財政状況を伺う。

**市長** 市民一人当たりの歳入総額は約33万9000円で、五つの特例市中第一位。同じく市税は約16万4000円で第二位。歳出総額は32万4000円で第二位。投資的経費は第一位。公債費は最も少なく、一人当たり約1万9000円。市債現在高は第3位である。

**問** 平成24年度の経常収支比率は、前年度より0.4ポイント下がり92%だが、どう評価しているのか。

**市長** 歳入で市税や普通交付税が増加したことで改善した。財政構造の硬化化への対応には、効率的・効果的な予算の執行と市税収入の確保が不可欠である。

#### 日本共産党平塚市議会議員団

**問** 平成24年度予算の編成に際して「安易に事業の切り捨てや民間委託をすべきではない」と求めた。市は「協働経営プラン」に「財政健全化プラン」を統合し、行政改革の五つの施策を具体化した。どのような成果を挙げたのか。

**企画政策部長** 「仕事の点検作業」などを通して事業の見直しを進めた。住民サービスの向上のために民間活力を使った。また、職員手当の民間との格差を見直した。

**問** 本市は、財政的には特

#### 松本 敏子 議員

#### 平塚市の市営住宅施策

**問** 市営住宅の役割をどのように位置づけているのか。

**都市整備部長** 所得の低い住宅困窮者への提供を目的としている。建物の長寿命化や適切な入居者管理を進め、有効活用を図っていく。

**問** 居住者が退去した部屋が次の募集に出るまでに、どの程度の時間がかかるか。

**都市整備部長** 室内を修繕するため、半年以上かかる。

**問** 民間では、2〜3週間で内装の改修工事はできる。指定管理者のノウハウを活用し、少しでも早く入居できるようにすべきか。

**都市整備部長** そのような体制をとっていききたい。

**問** 入居者の募集を停止し

#### 子育て支援新制度

**問** 「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられたが、どのような計画とするのか。

**健康・こども部長** 平成27年度から5年間の子育て支援事業や、保育サービスなどの事業計画を策定する。

#### 公文書・歴史的 文書の保存と活用

**問** 公文書の管理の仕組みづくりに向けた今後の対応を伺う。

**総務部長** 今後も調査・研究を進めていく。

#### 社会保障制度改革 推進法によって 介護保険制度は

**問** 制度の目的は「介護の

社会化」であるが、今回の改定は自己責任を強く求めている。サービスが受けられなくなる人への支援は、**福祉部長** 国の動向を注視しながら検討していく。

**問** 特養待機者が一千人を超えた。相部屋である「多床室」の要望にどう答えるか。

**福祉部長** 県も多床室を認めており、事業者がいれば建設も可能である。

### 平塚市議会WEB

市議会ホームページで、議員・会派の構成や市議会のしくみなどを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

**■会議録のご案内**  
本会議や委員会における審議・審査の内容を「会議録」としてまとめています。  
9月定例会の会議録は11月中旬に掲載します。

平塚市議会

## 9月定例会の質問者と主な項目

( )内は質問時間

<p><b>坂間 正昭：清風クラブ (30分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ツインシティ整備推進事業について</li> <li>財政基盤と市政運営について             <ol style="list-style-type: none"> <li>財政基盤の確保、市政運営の課題</li> </ol> </li> <li>まちづくりについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>西部地域の活性化</li> <li>まちづくりセンター化</li> </ol> </li> <li>減災対策について             <ol style="list-style-type: none"> <li>情報発信</li> <li>新たな防災訓練</li> </ol> </li> <li>教育行政について             <ol style="list-style-type: none"> <li>土曜日授業</li> <li>社会教育の充実と環境整備</li> </ol> </li> </ol>	<p><b>岩田 耕平：平塚クラブ (30分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市長に問う             <ol style="list-style-type: none"> <li>ツインシティ整備事業について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ツインシティ大神地区土地区画整理事業補助金</li> <li>ツインシティ大神地区にかかる都市計画決定・変更原案</li> <li>計画は財政的に大丈夫か</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>平塚市地域防災計画について             <ol style="list-style-type: none"> <li>改訂理由と改正点、今後の課題</li> <li>市民への周知</li> </ol> </li> <li>平成25年度平塚市教育委員会の点検・評価について</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>相模小学校移転整備事業</li> <li>新環境事業センターと余熱利用施設</li> <li>美術工芸品及び美術館行政について</li> <li>地域課題について             <ol style="list-style-type: none"> <li>西部福祉会館利用者や金旭中学校生徒が通行する農道の整備</li> <li>纏自転車保管場跡地の有効活用</li> </ol> </li> </ol> <p><b>伊東 尚美：公明ひらつか (20分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚市庁内評価について</li> <li>安心して学べる環境づくり             <ol style="list-style-type: none"> <li>いじめ対策について</li> <li>子ども安心カードについて</li> </ol> </li> <li>小学校プール開放について</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地解消の推進</li> <li>農作物鳥獣被害対策</li> </ol> <p><b>米村 和彦：湘南フォーラム (20分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>切れ目のない社会保障を目指して</li> <li>学校トイレの洋式化</li> <li>地域の課題から             <ol style="list-style-type: none"> <li>度重なる金目地区の大雨被害について</li> <li>旧金目公民館の活用について</li> <li>公園の管理について</li> </ol> </li> </ol>
<p><b>小泉 春雄：湘南フォーラム (30分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市長に問う             <ol style="list-style-type: none"> <li>平成24年度決算</li> <li>平成26年度予算編成に向けた考え方</li> <li>平成26年度税収見込みと消費税引き上げの影響</li> <li>教育委員会制度に関する調査</li> <li>平塚市庁内評価の結果</li> </ol> </li> <li>受動喫煙防止の取り組みについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>路上喫煙禁止区域と指定喫煙場所</li> <li>新庁舎における喫煙場所</li> </ol> </li> <li>諸課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚の米作農業、通学路の安全対策</li> </ol> </li> </ol>	<p><b>渡辺 敏光：日本共産党平塚市議会議員団 (25分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>認第1号 決算の認定について             <ol style="list-style-type: none"> <li>特徴・評価</li> <li>今後の見通し</li> </ol> </li> <li>子ども・子育て支援新制度について             <ol style="list-style-type: none"> <li>新制度での学童保育</li> <li>「一時的余裕教室開放利用のガイドライン」の取り組みの現在の状況</li> </ol> </li> <li>公文書・歴史的な文書の保存・保管・市民の有効活用について</li> </ol> <p><b>片倉 章博：清風クラブ (25分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚市産業振興計画実施について             <ol style="list-style-type: none"> <li>商店街街路灯、観光事業</li> </ol> </li> <li>神奈川県産木材の活用について</li> <li>ひらつかの未来ここにあり             <ol style="list-style-type: none"> <li>市街地調整区域の土地利用</li> <li>高度地区見直し</li> </ol> </li> <li>学校給食について             <ol style="list-style-type: none"> <li>共同調理場の業務委託</li> <li>中学校業者弁当業務委託</li> </ol> </li> </ol>	<p><b>出縄 喜文：平塚クラブ (22分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市有財産の整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>中央図書館、博物館、教育会館</li> <li>青少年会館、湘南海岸公園再整備</li> <li>平塚市総合公園駐車場有料化について</li> <li>平塚市余熱利用施設整備方針について</li> </ol> </li> <li>農業振興             <ol style="list-style-type: none"> <li>今日までの農業振興策の成果について</li> <li>望まれる農業振興策について</li> </ol> </li> </ol> <p><b>松本 敏子：日本共産党平塚市議会議員団 (14分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚市の市営住宅施策             <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚市営住宅ストック総合活用計画</li> <li>指定管理者制度導入の最終年度</li> </ol> </li> <li>社会保障制度改革推進法によって介護保険制度は</li> </ol>	<p><b>鈴木 晴男：公明ひらつか (15分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ツインシティ整備推進事業</li> <li>道路と公共施設の長寿命化</li> <li>動物愛護推進事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>地域猫について</li> <li>市民提案型協働事業の継続の考え方</li> </ol> </li> </ol> <p><b>府川 正明：湘南フォーラム (16分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大浜地区土地区画整理事業</li> <li>平塚駅南口駐輪対策について</li> <li>平塚海岸の環境保全</li> </ol>
<p><b>永田 美典：公明ひらつか (30分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市長に問う             <ol style="list-style-type: none"> <li>防災・減災対策                 <ol style="list-style-type: none"> <li>御殿枝線(雨水)築造工事その5</li> </ol> </li> <li>ごみの資源化                 <ol style="list-style-type: none"> <li>厨芥類資源化施設導入調査と剪定枝の資源化</li> </ol> </li> <li>公共施設の利活用                 <ol style="list-style-type: none"> <li>3市3町での相互利用</li> <li>ひらつか市民プラザの再整備</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	<p><b>須藤 量久：清風クラブ (23分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教育行政             <ol style="list-style-type: none"> <li>平成25年度全国学力・学習状況調査</li> <li>落ち着いた授業環境を目指して                 <ol style="list-style-type: none"> <li>幼・保・小・中連携の推進事業</li> <li>道徳教育の推進</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>農業の活性化について             <ol style="list-style-type: none"> <li>地産地消の推進、ブランド化の推進</li> </ol> </li> </ol>	<p><b>鈴木 亜紀子：無所属 (20分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子育て支援施策について             <ol style="list-style-type: none"> <li>平塚市子ども・子育て会議</li> <li>多様な支援策</li> </ol> </li> <li>市民活動の促進について</li> </ol> <p><b>高橋 紀英：無所属 (14分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>議案第63号 平成25年度平塚市一般会計補正予算             <ol style="list-style-type: none"> <li>ツインシティ整備推進事業</li> <li>中学校昼食運営事業</li> </ol> </li> </ol>	

**9月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

無所属

吉野 和美 議員

**地域防災計画の改訂と行政の役割**

**問** 東日本大震災の課題や教訓として、今までの経験主義による防災対策の延長では対応できない災害があることが分かった。それを踏まえ、防災対策をどのように再整備していくのか。

**防炎危機管理部長** 関係機関との連携を強化し、防災・減災対策を進め、防災会議などで検証を行い、災害に対応できるように取り組むことが重要と考える。

**問** 本市の地域防災計画は、昨年12月と今年7月に改訂されたが、具体的な数値目標は掲げられているのか。また、進捗状況はチェックしているのか。

**防炎危機管理部長** 県の地域防災計画と同様に、目標数値は掲げている。進捗状況は市の総合計画に位置づけ進行管理している。

**問** 平塚市独自の被害想定から地域ごとの被害想定を示し、効率的な対策を詳細に示した計画として市民の

理解を得るべきではないか。  
**防炎危機管理部長** 県の地域防災計画と同じ被害想定を基本に、各種防災・減災対策を位置づけている。独自の被害想定を行うことは、国や県との連携を図るうえで困難である。

**問** 地域ごとに詳細に分析した数値がない中で被害想定をして、地域や人命をどう守るのか。それは何を根拠に言っているのか。

**防炎危機管理部長** 被害想定は県の計画に合わせて見直している。どのような地震を想定しても、行政として取り組むべき内容に変わりはない。

**問** 被害の発生場所から被害想定を出しているのではないのか。

**防炎危機管理部長** 県の計画から導いた数字であり、本市が積み上げたものではない。

無所属

**子育て支援施策**

**①子ども子育て会議**  
**問** 会議に子育て中の方が参加しやすい環境整備が必要だ。近隣自治体では委員や傍聴者に託児サービスを提供している。本市も対策を講ずるべきではないか。

**健康・こども部長** 会場や人員確保などの課題もあり特に考えていない。子供同伴の傍聴は可能である。

**問** 市民ニーズを把握する

**教育委員会と教育現場の共通認識**

**問** 児童・生徒の安全確保のために管理職や教職員が災害発生時の状況を的確に判断し、適切に支援するための体制の整備をどのように図っているのか。

**教育指導担当部長** 子供たちの安全確保のため、各学校でさまざまな訓練を実施し、実践力の向上を図っている。実際に役立つ防災教育の視野がさらに広がるよう努力していく。

**災害・防災行政機関の組織について**

**問** 消防団の活動環境の整備や活動の啓発、参加の促進をどのように図るのか。

**消防長** 消防団の知識・技術の向上を目指す。施設や装備を含めた消防力の強化に努めていく。

無所属

高橋 紀英 議員

**ツインシティ整備推進事業**

**問** 今、平塚市では三大事業といわれる大型事業が進行中である。これらは、市民の理解をいただき進められてはいるが、同時に市民には、いろいろな面で我慢もしていただいている。ツインシティに踏み込むことで、市民は今後さらに我慢をしていかなければならないのか。

**市長** 行政サービスを提供していくときに、必要な事業に対してどのように「お金がけ」をしていくのか提示して予算編成をしている。この提示は、決して市民に我慢をしないでいただくことが必要だが対策は、**健康・こども部長** 説明を記載し、趣旨や重要性が伝えられるよう工夫する。

**②さまざまな支援策**

**問** 認可保育園での一時預かり事業には市からの補助金があり、認可外保育施設での一時預かりにはない。子育て世帯を支援することに対して利用料金に不公平があつてはいけないと思うが、市の考えを伺う。

**健康・こども部長** 新たな制度では、認可外保育施設に対する補助金は検討されていない。したがって、補助は極めて難しい。

**問** ニーズ調査は対象者が調査の目的や内容を理解す

のではないと思つている。今回のまちづくり「ツインシティ整備推進事業」に対する「お金がけ」についても、市民に我慢を強いる予算ではないと思つている。

**中学校昼食運営事業**

**問** この事業が「昼食」であつて、「給食」ではないことを確認したい。

**学校教育部長** 給食は、実施に必要な施設や設備運営に関する経費は行政が負担し、食料料費などは保護者が負担すると規定されている。この事業は給食ではなく、「昼食」の支援である。  
**問** 現状の昼食時間は短すぎると思うが。

**学校教育部長** 昼食時間のとり方は、学校における一日の時間の在り方や、学習指導要領の教育活動など大きな問題も含んでいる。機会があれば学校現場と検討したい。

**市民活動の促進**

**問** 法人税法上の収益事業を行っているNPO法人は、収益がなくても法人市民税の「均等割」を納税する。千葉県我孫子市や長野県上田市では、収益事業を行うNPO法人の法人市民税を減免している。NPO法人の活動を促進するため、本市も一定の要件を満たす場合は減免措置を講ずるべきではないか。

**市民部長** 租税負担公平の原則から、減免措置を拡大させることは慎重に判断すべきと考える。

**問** 市民ニーズを把握する

**請願・陳情を市議会へ**

「請願」・「陳情」とは、市民の誰もが市政や地域の身近な問題に関する意見や要望などを、直接、市議会に提案できる制度です。



**■請願書・陳情書の提出方法**

請願書・陳情書には、日付、住所、氏名（団体名・役職名）を記載、押印し、平塚市議会議長あてに提出してください。また、請願書には、紹介議員の署名が必要です。請願・陳情者が多数の場合は、「署名簿」を添付することができます。

**■提出の締め切り**

請願は、本会議第2日目の午後5時です。陳情は、定例会中に開催する議会運営委員会の2日前です。

なお、請願・陳情者の住所・氏名などは一般に公開されません。あらかじめご了承ください。

問 議会局 (☎ 21 - 8791)

**決算特別委員会を設置**



【決算特別委員会】

- 委員長 山原 栄一議員(写真)
- 副委員長 坂間 正昭議員
- 委員 秋澤 雅久議員
- 佐藤 貴子議員
- 高山 和義議員
- 内堀 祐一議員
- 白井 照人議員

9月定例会では、平成24年度の一般会計・特別会計決算および病院事業決算の認定を求める議案が市長から提出されました。

**平成24年度一般会計歳出 842億円余の決算額**

した。その結果、採決では全員異議なく、いずれの議案も認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会による審査の結果は12月定例会で報告され、本会議で認定の可否を審議します。

※決算の概要や審査の詳細は次号のひらつか議会だよりでお伝えします。

市議会 9月定例会

議案の審議結果

9月定例会では、市長から提案された23件の議案と議員提案による1件の会議案を審議し、継続審査となった決算の認定に関する2議案を除き原案どおり可決しました。議案に対する各会派の賛否は次のとおりです。

○賛成 ×反対 (枠内の数字は会派内での賛否の数)

Table with columns: 番号, 件名, 清風クラブ, 湘南フォーラム, 公明ひらつか, 平塚クラブ, 日本共産党平塚市議会議員団, 無所属A, 無所属B, 無所属C, 無所属D, 結果. Rows include various budget and policy proposals.

Table with columns: 会派名等, 所属議員名. Lists party names and their respective members.

請願の審査結果

Table with columns: 番号, 件名, 付託委員会, 委員会審査結果, 本会議結果. Lists petitions and their review outcomes.

意見書の提出

9月定例会では、議員提案による次の意見書を可決し、内閣総理大臣のほか関係機関に提出しました。

「地方税財源の充実確保」についての意見書(抜粋)

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

- 1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保
(1) 社会保障関係費の増など、地方の財政需要を地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
(2) 地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
(3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引き上げにより対応すること。
(4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
(5) 地方公務員給与の引き下げを前提として平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けること。
2. 地方税源の充実確保等
(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5:5」とすること。その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系を構築すること。
(2) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
(3) 固定資産税は市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。特に償却資産の根幹をなす「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
(4) 法人住民税は、均等割の税率を引き上げること。
(5) 自動車重量税及び自動車取得税を見直し、これに伴う代替財源を示すこと。
(6) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。
(7) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

市議会を傍聴しませんか

12月定例会の予定

市庁舎の建て替えに伴い、市議会本会議および常任委員会は勤労会館で開催します。

Table with columns: 日程, 会議名等. Lists the schedule for the December regular session.

※開会は午前10時の予定です